

“安心”は“地域のつながり”から 自治会・町内会に加入しませんか？



写真提供:神戸市

※市内には、自治会、町内会のほか、組や区など様々な呼び方がありますが、以下「自治会」に統一しています。

いざという時、頼りになるのは“地域”です

「阪神・淡路大震災」で救助された人々のうち、約90%が家族・近隣住民の救助活動によるものといわれています。

平常時の地域のつながりが**災害時に力を発揮**します。

東日本大震災でのエピソード

(浦安市 60代男性)

自治会長である私は、旅行中でした。翌々日に戻ってきたとき、自治会や住民の皆さんの顔を見て全員の無事が分かり、ホッと安堵したのを記憶しています。

しかし、自治会長が指揮を執らなくても肅々と自治会メンバーが各自の仕事を分担していたときは本当にうれしかったです。これも日ごろの自治会の交流があったからだと思っています。夏祭りなど、日ごろの活動も訓練になったのかも知れません。これまでの活動を通じて培った連帯感が、信頼感につながって、今回の被災を乗り切れたのだと思います。



出典：内閣府「一日前プロジェクト エピソード集」

自治会への加入を希望される方は、お住まいの地区の自治会長にご相談いただくか、右のQRコードから申し込んでください。

※いただいた個人情報は、お住まいの地区の駐在員（市から委嘱された連絡員）に提供します。
後日、自治会から連絡があります。個人情報は、自治会加入以外の用途に使用することはありません。



申込み・問合せ：知多市市民協働課 TEL：0562-36-2644（直通）

加入申込QR ↑

発行：知多市コミュニティ連絡協議会・知多市市民協働課

“「もと」自治会長”
に聞いた！

あまり知られていない！？

自治会の活動

防犯灯の維持管理をしているのは「だれ」？

それ、実は
自治会です

暗い夜道を照らしてくれる「防犯灯」の維持管理は市が行っていると思われがちですが、「防犯灯」の取付けや電気料金の支払いは自治会が行っています。



【防犯灯】

▶自治会が管理



【街路灯】

▶県や市が管理

ごみ収集場所の維持管理をしているのは「だれ」？

それ、実は
自治会です



生活する中で排出される「ごみ」

ごみ収集場所の維持管理は市が行っていると思われがちですが、

ごみ収集場所の維持管理は自治会が行っています。

- ・収集場所の清掃、鳥獣によるごみの散乱防止
- ・収集場所を新設、移設する際の関係者（地権者、住民）への調整

その他の自治会活動

※活動内容は地域によって異なります。

ふれあい

地域住民が気軽にふれあい、親睦を深めるために、運動会や夏祭りなど、さまざまなイベントを開催しています。



環境美化

歩道や公園などの定期的な清掃や草刈り、地域での資源回収など、清潔で快適なまちづくりのために活動を行っています。



福祉活動

敬老事業や三世代交流会、ふれあい・いきいきサロンの運営などの福祉活動を行っています。



防災

災害に備えた防災訓練や犯罪を起こさせないための防犯パトロールなど、安全・安心な地域を目指し、活動を行っています。

